

地域輸送資源を束ねて活用する 新たなモビリティサービスの仕組みづくり

株式会社アイシン
移動サービス事業推進部

本日のアジェンダ

1. アイシンのご紹介
2. 乗り合い送迎サービス「チョイソコ」
3. 地域輸送資源を束ねるアイシンのMaaSプラットフォーム
4. タクシー配車システムとの標準API連携

1. アイシンのご紹介

トヨタグループ°（18社）

トヨタ自動車株式会社

株式会社豊田自動織機
トヨタ自動車株式会社
愛知製鋼株式会社
株式会社ジェイテクト
トヨタ車体株式会社
豊田通商株式会社
株式会社アイシン
株式会社デンソー
トヨタ紡織株式会社
トヨタ不動産株式会社
株式会社豊田中央研究所
トヨタ自動車東日本株式会社
豊田合成株式会社
日野自動車株式会社
ダイハツ工業株式会社
トヨタホーム株式会社
トヨタ自動車九州株式会社
ウーブン・バイ・トヨタ株式会社

社名：株式会社アイシン

設立：1965年8月31日

本社：愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

資本金・売上：資本金450億円／売上4兆8,961億円（'25年3月期）

連結子会社：191 社（国内71 社 海外120社）

従業員：連結114,449人／単独34,384人

事業内容：自動車部品、エネルギーソリューション関連機器の製造販売



自動車部品
（機関・駆動・車体・電子など）



エネルギー

ガス・ヒートポンプ・エアコン エネファーム（家庭用燃料電池）



カーナビゲーション



AIR(アイル)



YYSystem



みちログ

新規事業創出の
取り組みとして2018年に
チョイソコサービス開始



2. 乗り合い送迎サービス「チョイソコ」

「チョイソコ」とは？

地域の皆様と一緒に作りあげる「持続可能な地域公共交通の仕組み」です。

・地域の交通不便を解消する、子供から高齢者まで誰でも使える
デマンド型交通 (※)

※予約状況に応じて乗降場や経路を常に変更。

システム

・民間企業が運営主体となり、エリアスポンサーによる協賛を
得ることで採算性を向上

採算性

・単なる運行のシステム提供に留まらず、
高齢者の健康増進につながる外出促進の“コト”づくりを推進

利用促進

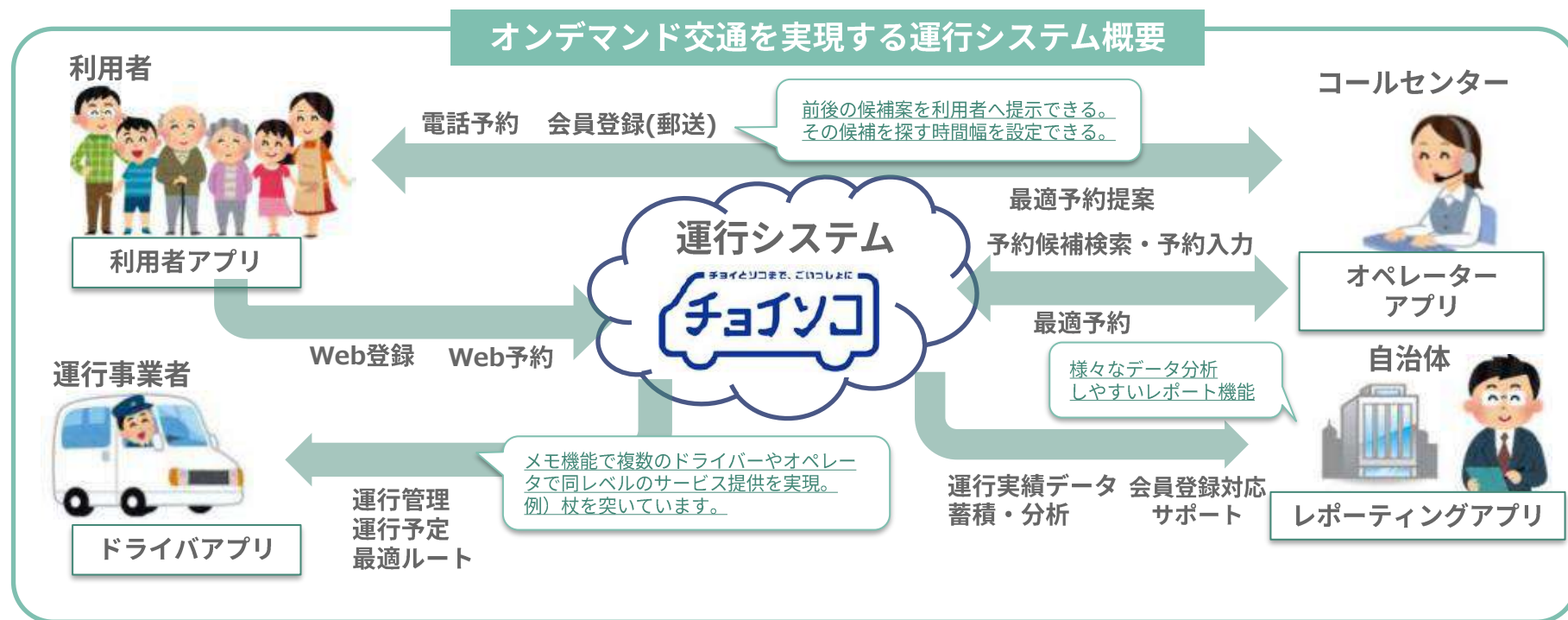
スポンサーPRボード

チョイソコとよあけは以下のスポンサーの皆さまに支えられています。

外出促進の施策

オンデマンド運行システム概要

使う人すべてにやさしいシステムを目指しています。



エリアスポンサー協賛による採算性の向上

エリアスポンサー（事業者）からの協賛・広告料により
運営費用の一部を支えていただくことで、
これまでよりも採算性高く運営を維持することが可能です。



外出促進の“コト”づくり

移動は「目的を達成するための手段」とすれば、
移動のきっかけとなる“目的”を作れば、もっと人が動くはず。

『**人が動く** → **経済が動く** → **地域が活性化**する』

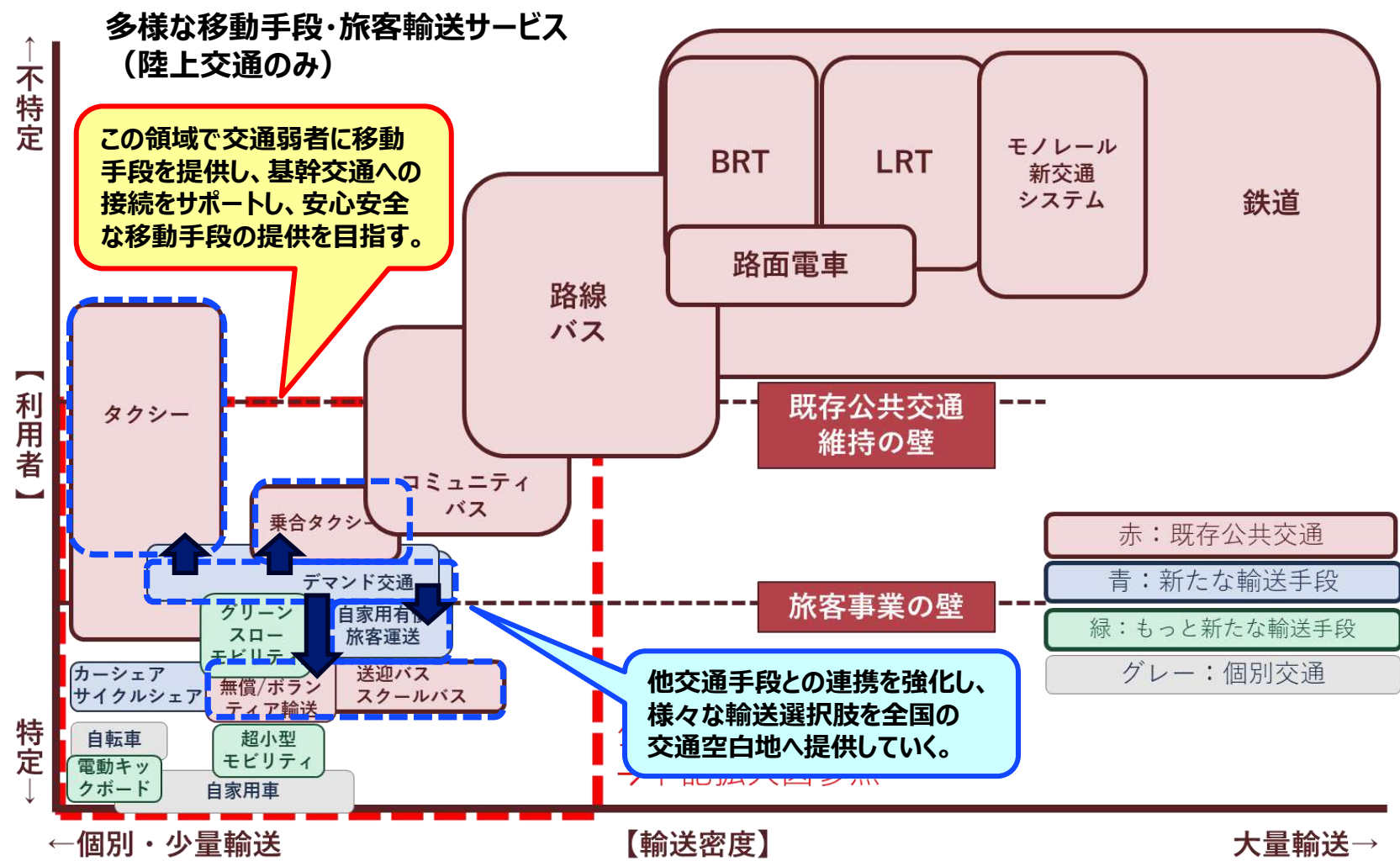


- ・ウォーキングは男女問わず参加者は多い
- ・食事を楽しむイベントは女性に人気
- ・趣味や体験型のコンテンツは男性が参加しやすい

3. 地域輸送資源を束ねる アイシンのMaaSプラットフォーム

移動の自由を確保するため地域輸送資源を全て活用

プラットフォームを介し地域の輸送資源を全て可視化することで、**「どこに住んでいても利用者が自分のニーズに合わせた移動手段を選択できる」**ことを目指す。

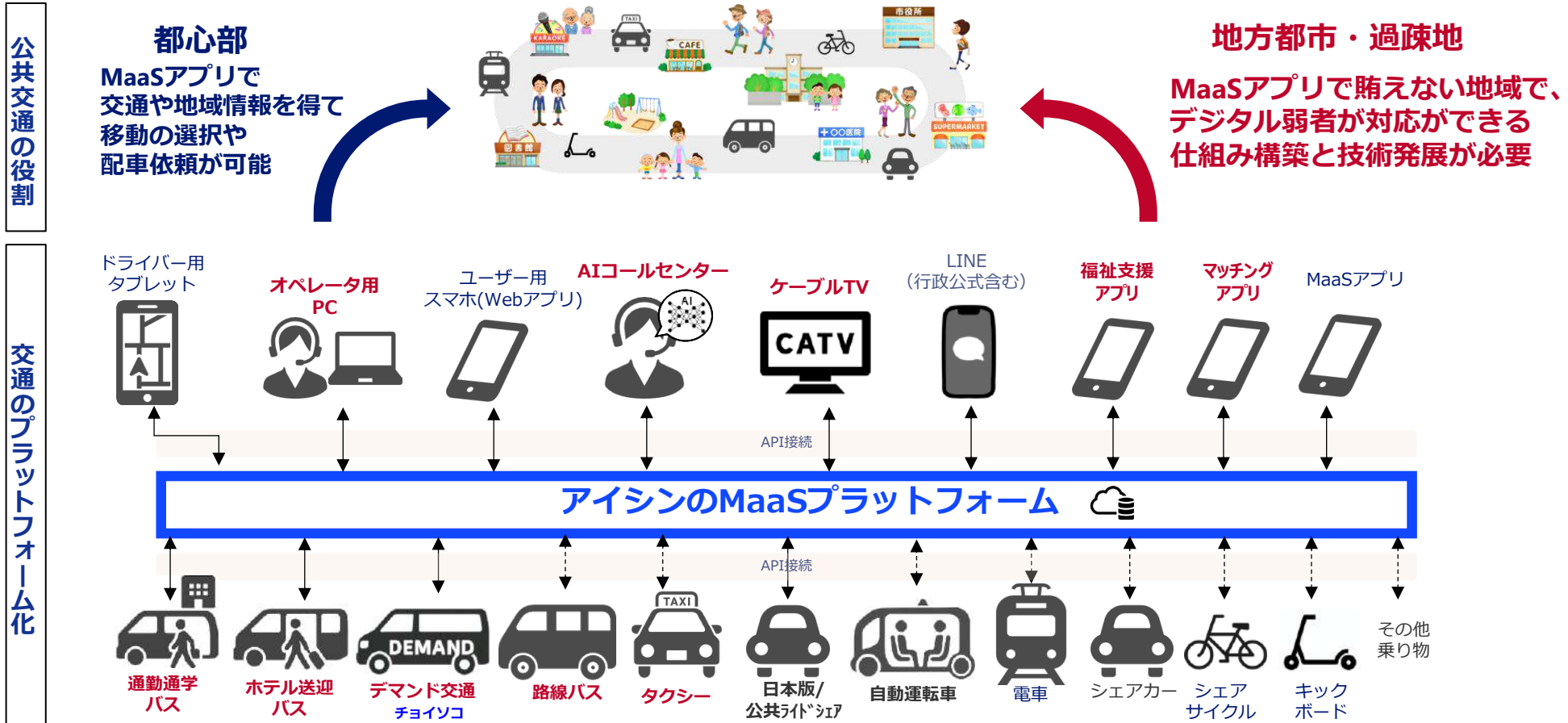


出典：国土交通省「地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画作成のための手引き入門編」に公共交通トリセツ編集会議加筆

アイシンのMaaSプラットフォーム



多様な交通モードと連携し共通基盤の機能アップをはかり、ユーザーの移動価値向上に貢献していく。



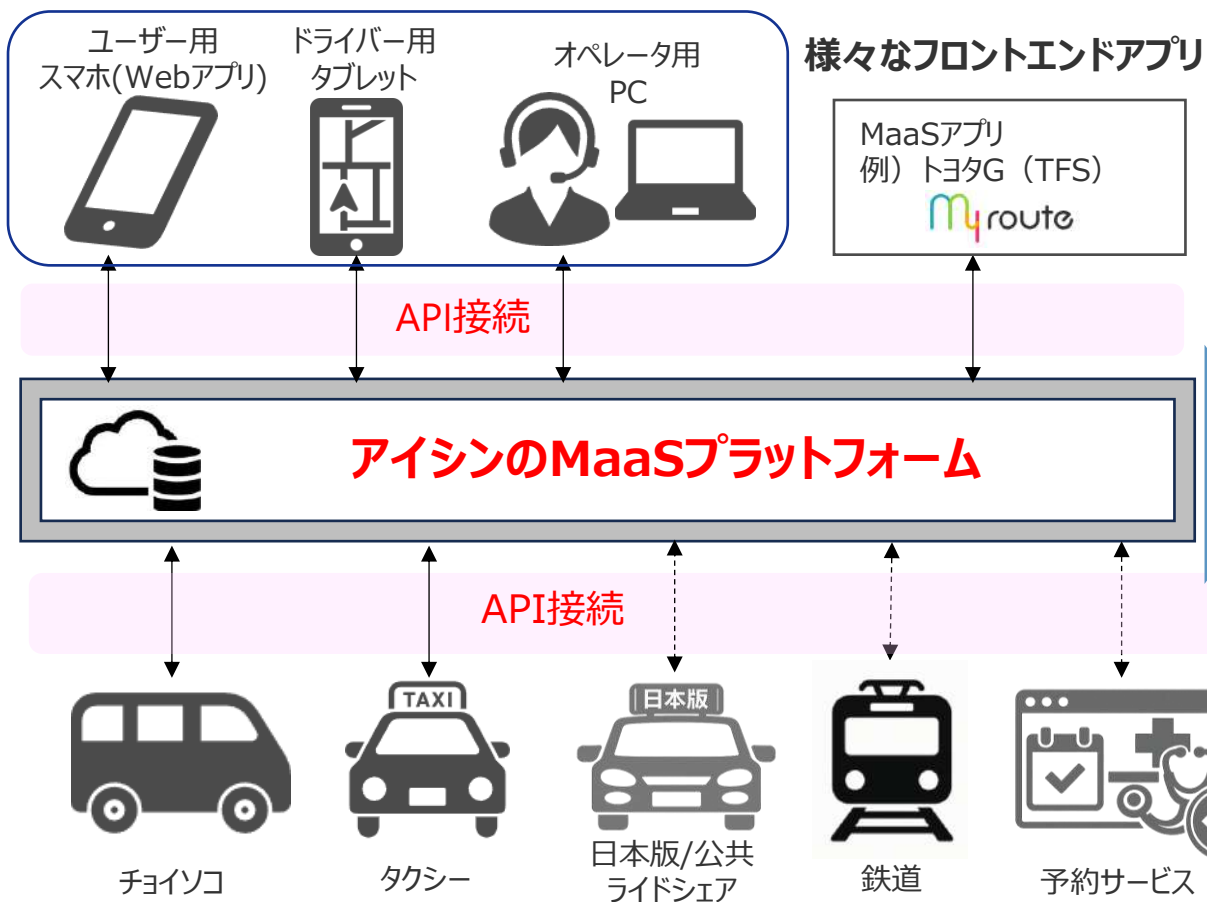
様々なアプリを入口として、1度の検索で地域にある全ての輸送選択肢を表示

複数サービスの連携による新サービスの創出

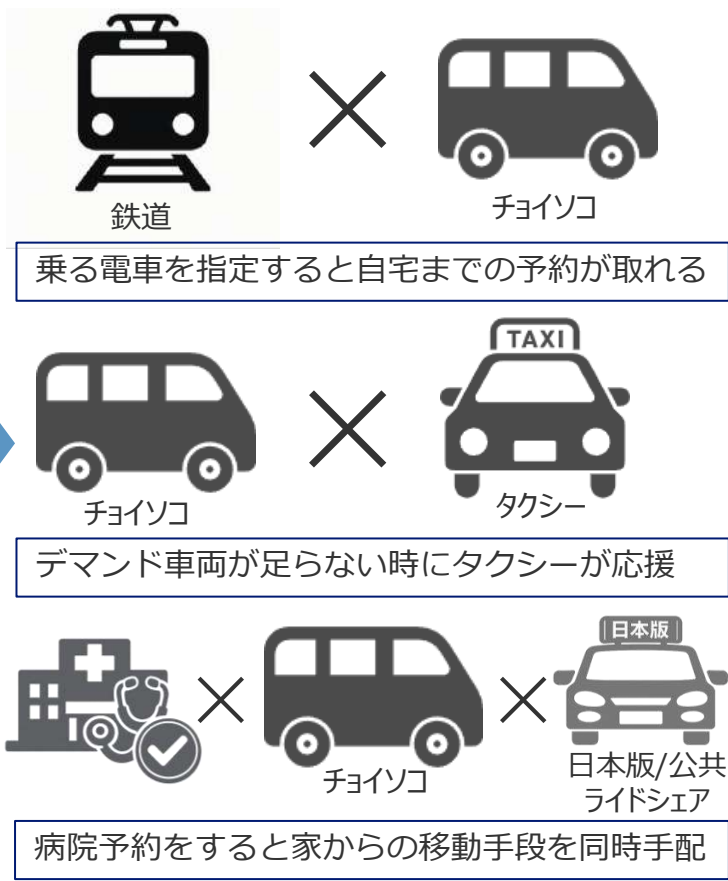


地域にある様々な輸送サービスをAPIで連携し、どこに住んでいてもユーザーが交通手段を自由に選択できるモビリティサービスの実現を目指す。
さらに、既存サービスを組合せた新たなサービスの創出・提供を目指す。

プラットフォームを通して様々なサービスをつなげる



複数サービスを組合せて新しいサービスを創る



4. タクシー配車システムとの 標準API連携について

電腦交通とアイシンの連携について

国交省のCommonsプロジェクトの1つである「タクシー配車業務・システムの共通化プロジェクト」において、受託事業者である電腦交通と連携して、新たに開発された「標準API」を用いてR7年にシステム連携実証を実施。

電腦交通「DS」⇔（国交省標準API）⇔（アイシンMaaS PF）⇔ アイシン「チョイソコ」

■クラウド型タクシー配車システム「DS」の詳細



クラウド型タクシー配車システム「DS」は、配車オペレーター用画面とドライバー用車載タブレットをセットにした配車システムで、タクシー事業者の業務効率化を実現します。現在、全国47都道府県で約600社・約2万3000台のタクシー車両に導入されています。



どのアプリでも、どのタクシーでも。業界の分断を越える標準化への挑戦

タクシー配車業務・システムの共通化プロジェクト



API仕様の標準化による
各種アプリ接続のハードル低下



オペレーションの標準化による
タクシー運用効率の向上

「標準API」とは

そもそもAPIとは・・・

「アプリケーション・プログラミング・インターフェイス (Application Programming Interface) 」
の略称であり、ソフトウェアやプログラムを繋ぐインターフェイス＝“接点”のこと。

■タクシー配車アプリ連携API標準化プロジェクト



“これまで”

各タクシー配車依頼プラットフォームが独自のAPIを有し、各配車システムベンダーとの個別接続によりサービスの連携を実現する。

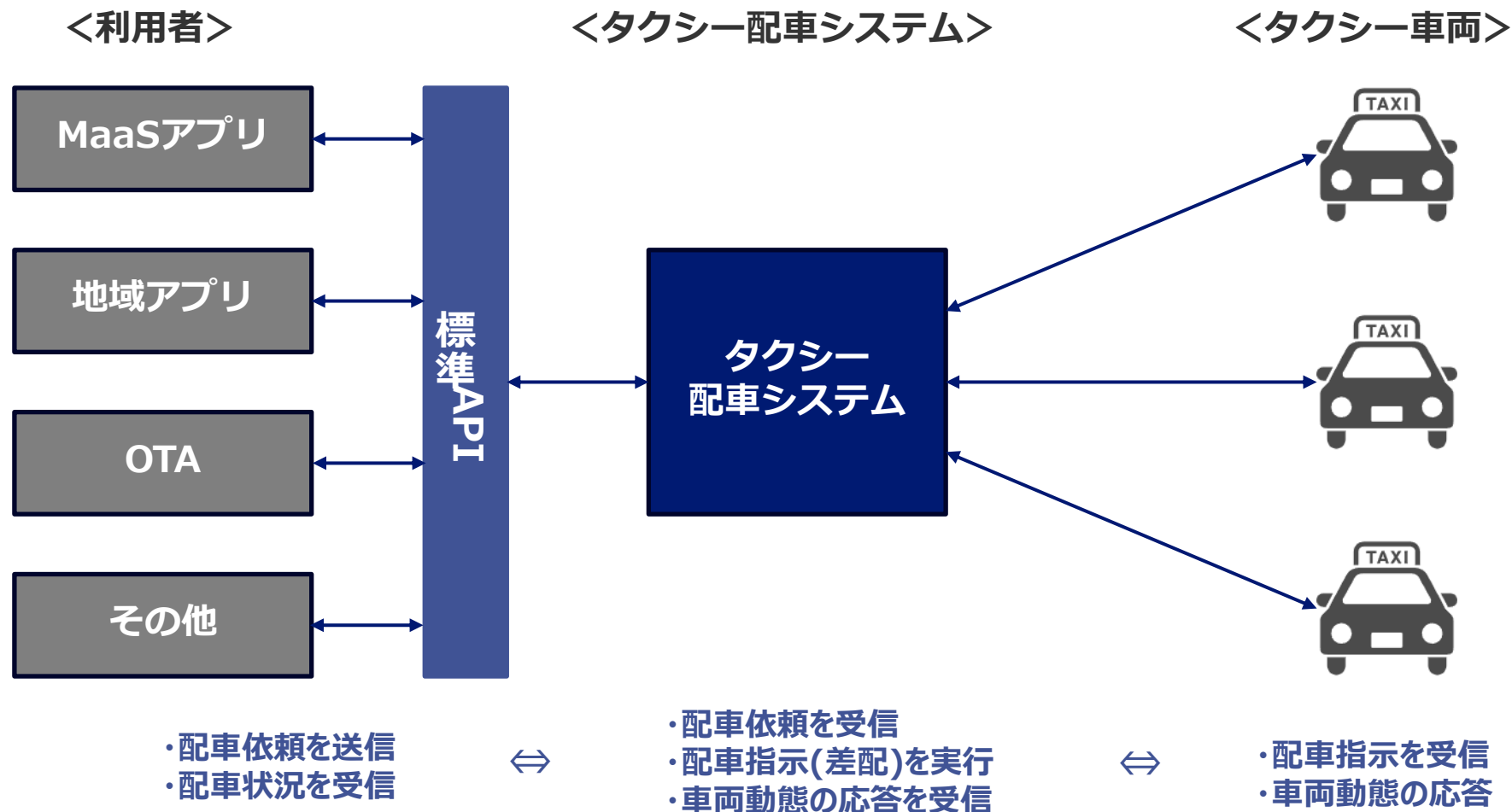


“これから”

タクシー配車に必要な最低限の接続情報をまとめた「標準API」を通じて、様々なプラットフォーム/インターフェイスからタクシー配車システムとの連携が実現できるようになる。

「標準API」による“これから”

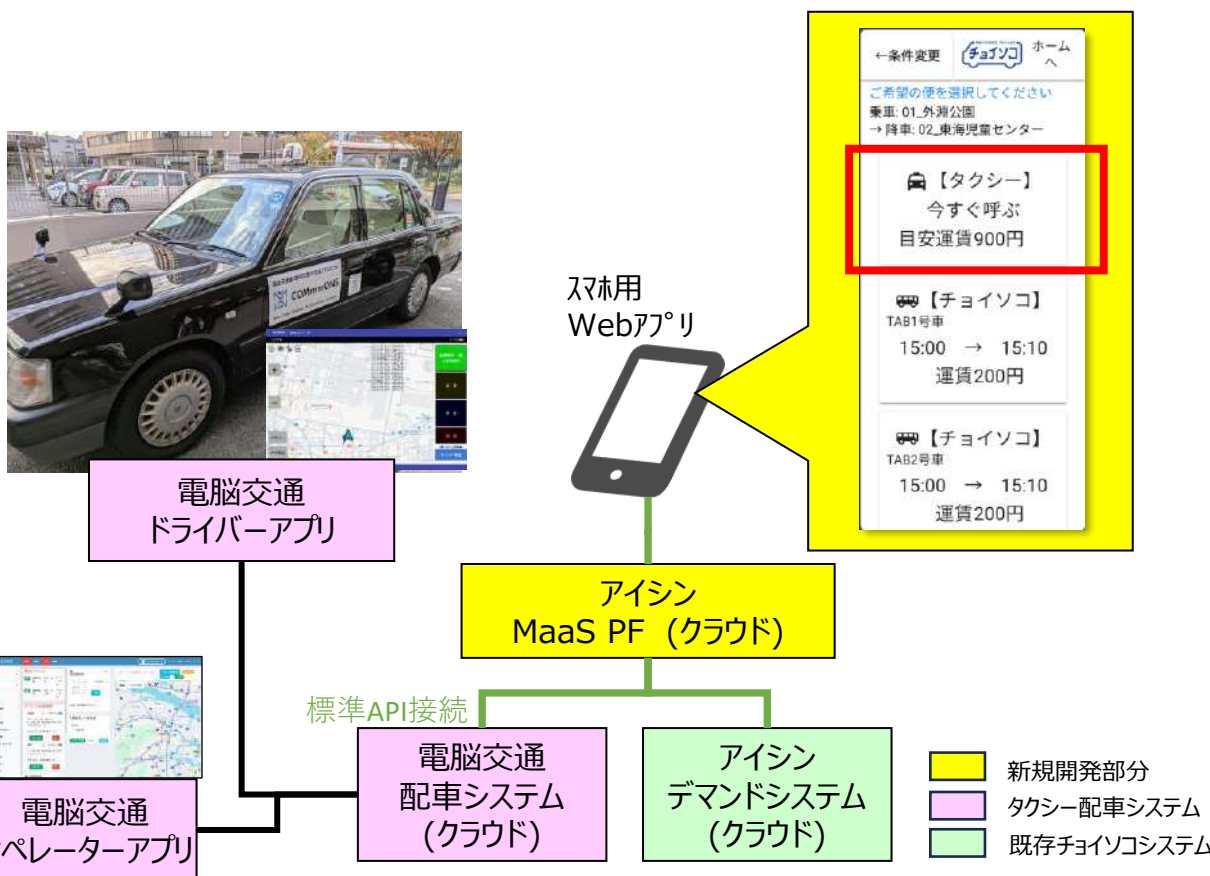
「標準API」を用いることで、タクシー配車依頼の専用アプリやサービスだけでなく、その地域やユーザーに根差したインターフェイス(=接点)とタクシーサービスを繋ぐことが容易になっていく。



チョイソコ タクシー配車機能

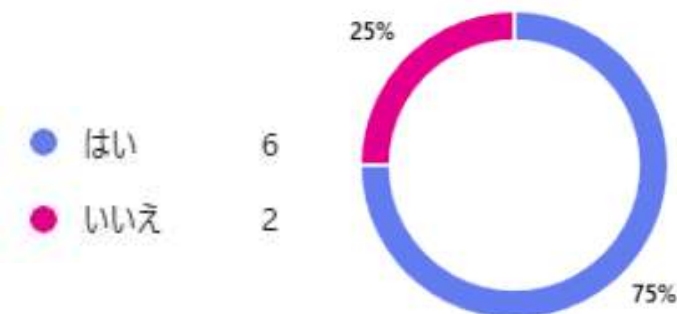
T市でのタクシー連携実証テスト

2025年11月13日,18日に地元タクシー会社の協力を得て、电脑交通と連携実証テストを実施。



25年11月 実証テスト後のアンケート

タクシー予約機能を実際に使いたい、あるいは必要になりそうと思いましたか？



いいえと回答した一部のユーザーからは
自宅等の好きな場所に行けるとタクシーの利便をうまく
活かせて良くなる、との意見有り

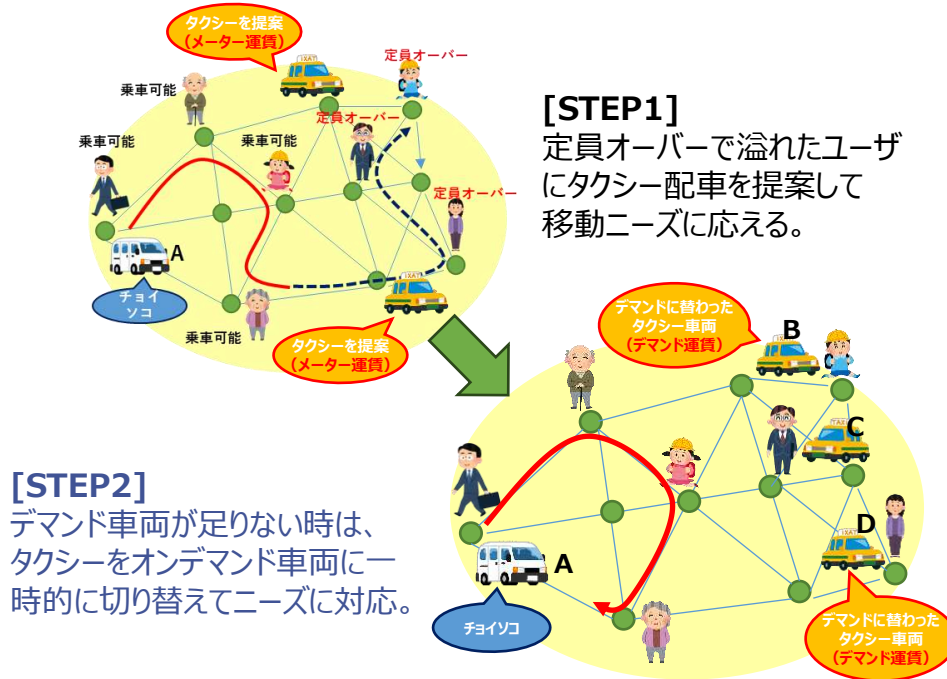
システム検証のために8名のテスターに実際に使ってもらい、チョイソコと並んでタクシーの選択肢も提案されることで一定のうれしさがあることが分かりました。

タクシーを活用したデマンド交通との連携

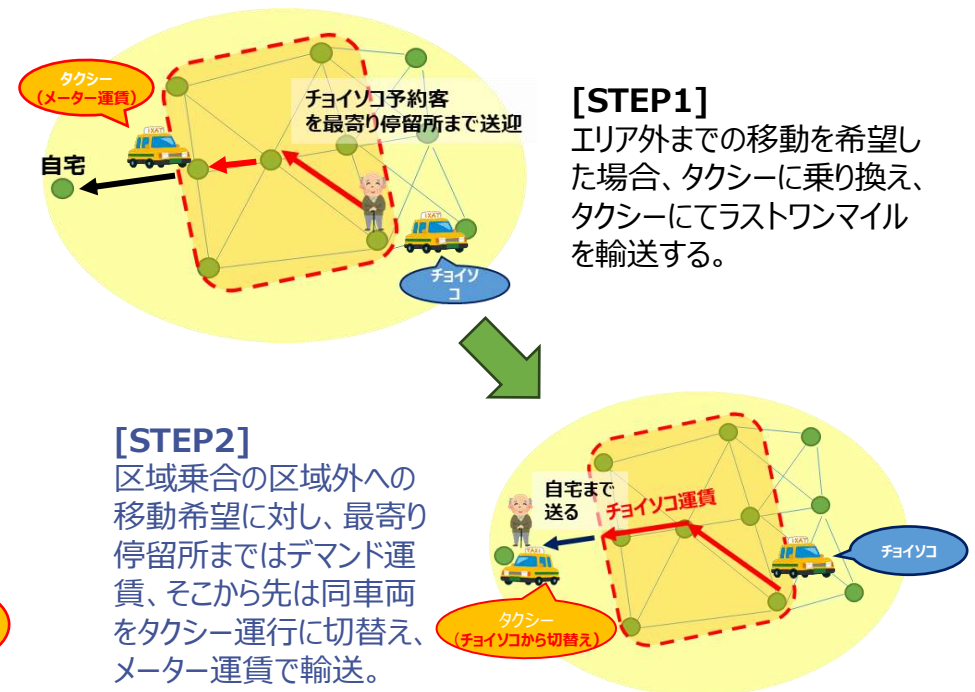
タクシー配車機能のレベルアップを行い、タクシーとオンデマンド交通の相互切り替え機能を実装していく。

→輸送資源の遊休時間を削減してムダをなくし、利用者の利便性を向上させる。

①タクシー ⇄ デマンド交通 切り替え



②デマンド交通 ⇒ タクシー乗換え／切り替え



需要に合わせて運行車両台数を柔軟に可変。

例) 繁忙時：デマンド交通 5台運行 (チョイスコ2台 + 応援タクシー3台)

閑散時：デマンド交通 0台運行 (チョイスコ2台→タクシーへ)

今年度の試作完了、次年度実装を目指して開発中です。(特許出願中)

これからもアイシンは「持続可能な社会の実現」へ向けて
貢献してまいります。

ご清聴ありがとうございました。

経営理念

“移動”に感動を、未来に笑顔を。